

## 臨床研究

# 「高齢者の上腕骨遠位端骨折における外側への腓骨遠位端骨折用ロッキングプレート の有用性」

### 1. 研究対象

2015年1月から2021年9月までに山陰労災病院整形外科で70歳以上の上腕骨遠位端骨折の診断で手術を行った患者さんです。

### 2. 研究目的・方法

本研究では、カルテから性別、年齢、歩行能力、身体所見（術後の可動域）、客観的所見（術前後のレントゲン検査、CT検査）、治療内容（手術内容）や治療結果などの情報を用いて、高齢の上腕骨遠位端骨折の骨癒合に影響する要因をしらべます。方法としては、手術で用いたインプラントの固定方法と骨折型と骨癒合期間の関係をインプラント別に比較し、骨片の大きさと固定力の関係をしらべます。

### 3. 研究に用いる情報の種類

患者さんのカルテ等から得られた診療情報の内、氏名、生年月日は削除し、年齢、性別、歩行能力、術後合併症、身体所見、客観的データ（レントゲン、CT）を患者さんを同定できないよう仮名加工して研究に用います。

### 4. 外部への情報提供

研究の結果は患者さんによりよい医療サービスを提供するために用います。一部は学術目的のために論文や学会で公表させていただくことがありますが、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

### 5. 研究組織

米子医療センター 整形外科 林原 雅子

### 6. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報／検査結果が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報／検査結果の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

患者さんの情報が当該研究に用いられることに関して患者さんご本人、もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしません。また、この臨床研究に関して不参加の意志を表明されても不利益になることはありません。

本研究に参加される患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確

保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

【研究責任者】

米子医療センター 整形外科 林原雅子

住所 鳥取県米子市車尾4-17-1

電話 0859-33-7111（代表）

米子医療センター 整形外科 リハビリテーション科医長

林原雅子（はやしばらまさこ）